

たかあき
かつまた 孝明 です！



昭和51年4月7日生まれ（36歳）
出身 沼津市
住所 沼津市花園町
家族 父親（沼津市出身）
母親（伊豆市出身：修善寺）
妻・長男・長女・次男

経 歴

〔学歴〕

しょうえい幼稚園
沼津市立門池小・門池中 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 卒業
（経営学修士：MBA取得）

〔職歴〕

平成12年4月 スルガ銀行株式会社入社
財団法人企業経営研究所 研究員
（地域経済産業分析）
経営企画部 人事担当マネージャー
平成22年12月 スルガ銀行株式会社退職
平成23年1月 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部 支部長

— お知らせ —



<http://ameblo.jp/t-katsumata>

ブログはじめました！！元気に毎日更新中！

いま、自民党が熱い！自民党員を大募集中！！

自民党に入党して、党員として自民党そしてかつまた孝明を支えてください！

入党資格

- ・ わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- ・ 満18歳以上で日本国籍を有する方
- ・ 他の政党の党籍を持たない方

党費：一般党員 年額4,000円、家族党員 年額2,000円

申し込み方法

- ・ 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部までご連絡ください。電話、eメール、直接お越し
いただいても結構です。



通信

— 第 1 5 号 —

自民党衆議院静岡県第6選挙区支部
410-0048 沼津市新宿町 16-5 まるやビル 1-B
電話：055 (922) 5526 FAX：055 (922) 5527
ブログ：<http://ameblo.jp/t-katsumata>
公式サイト：<http://www.t-katsumata.com>
eメール：jimin@t-katsumata.com

静岡6区【沼津・伊東・熱海・下田・伊豆・伊豆の国（旧韭山・大仁）・賀茂郡・駿東郡（長泉・清水）】

ボランティア大募集（6区支部まで連絡下さい）
まるかつ通信の企画・配布・街頭演説サポート・ポスター貼りなどなど、楽しい仲間と共に！

自民党 衆議院 静岡県第6選挙区支部支部長

たかあき

かつまた 孝明氏

の「自民党の基本政策」

～自民党ならこうする！教育編～



田植えしました！！

「高校授業料無償化」自民党ならこうする！！

検証すべき7つの論点

民主党が進める「高校授業料無償化」に対する問題点・疑問点は7点。いずれの観点からも検証が不十分で、早急な再検証が必要です。

1. 果たしてこの政策によって教育上の成果（学力や教育内容の向上など）が得られているのか。
2. 高校を義務教育化するのか等、わが国教育制度における位置付けをどうするのか。政府や民主党はこれについての考え方を全く示しておらず、ただのバラマキをしているだけです。
3. 所得の多い家庭の子供の授業料まで国が支援する必要があるのか。
4. 公立と私立との格差や自治体間の就学支援策の格差が広がっているのをどうするか。
5. 海外の日本人が支給対象になっていないことは適切か。
6. 逆に、朝鮮高校が対象に入っていることは適切か。しかも、政府の対応が一貫していないため、北朝鮮に誤ったメッセージを送りかねない事態になっていることも看過できません。
7. 定時制や通信制の場合、もともと安い授業料が無償化されても、特定扶養控除廃止により負担の方が大きくなっているケースがあります。これにどう対応すべきか。

自民党なら「所得制限を設け、その財源で、より優先度の高い新たな奨学金制度や私立高校の負担軽減を進めます」

私たち自民党の基本的な考え方は、「自助」を基本として、「共助」「公助」の組み合わせに拠っています。つまり、本当に支

援が必要な家庭に対しさらに手厚く支援することです。私たちの試算によれば、所得制限で削減できる 2,000 億円の財源で、効果の高い他の政策が実行できます。

1. 所得制限を設けます。その対象を世帯年収 700 万円以下に絞っても高校生の 5 割をカバーすることができます。しかも、約 2,000 億円の財源が確保できます。
2. 私立高校生の負担を軽減するため低所得者世帯を中心に公私の授業料の差額分をさらに支給します。
3. 低所得家庭対策として、返済義務のない新たな奨学金制度を創設します。

トップレベルの学力と人材の育成を目指します。

資源のないわが国にとって、次代の人材を育成する教育は極めて重要です。自民党が目指すのは世界トップレベルの学力と規範意識を養成し、日本文化を理解し、継承・発展させることができる人材を育成することです。そのためには、限られた財源を有効に使うことが不可欠です。 [次号に続く]



～近況活動報告～ 田植え

先月、修善寺の実家にて田植えを行いました。「手伝わざる者食うべからず！」毎年恒例の田植え。今日にいたるまで、田おこし～代かきまで様々な手順を踏んでの田植えとなります。

近年では、実家の横を流れる清流桂川の水で豊かに育った「修善寺桂流コシヒカリ」として、修善寺温泉の有名旅館でご賞味いただいているようです。

精魂込めて植えた稲が、今年も豊作を迎えますように！！